

評価理由の発表

(平成 28 年 1 月 22 日開催 第 13 回臼田地区小学校施設整備検討委員会で実施したグループ討議の要旨)

A グループ

安全性

安全性について

「あいとびあ臼田の東側」について、ハザードマップは100年に1度降ると考えられている大雨が2日間降り続いた時に浸水が想定される区域であるため、そのような場合は学校が休校になることも考えられる。また、千曲川以外の河川も同じような危険性があるのではないかと。以前もあいとびあ臼田の周辺で雨川の洪水による浸水が発生している。千曲川の堤防を高くしても、雨川に逆流する可能性がある。

「青沼小学校及び周辺」は、自然災害の面では一番安全だと思うが、地域住民の目が届きづらい。高圧線が近くを通っている。

「臼田小学校」は、住宅が近くにあるので児童が見守られやすい場所であるが、車の往来が多く心配である。河川敷を駐車場に利用しているようだが、河川敷は浸水の危険があるのではないかと。

環境

環境について、

「あいとびあ臼田の東側」は、日照が良好。臼田駅に近い。敷地の形状が四角形で良い。小海線がすぐ東側を通っており、音がどうなるか気になる。敷地の幅が狭いので、校舎の配置に苦慮するのではないかと。思う。

「青沼小学校及び周辺」は、日照、騒音、近隣住民への配慮には問題ない。現地改築のため校舎の配置に検討を要することや、児童の学習に影響が出る恐れがある。

「コスモホールの西側」は、日照、騒音の問題はない。施設の配置は非常にしやすいと思う。敷地が真四角でない。広い県道に学校が接することで安全性が心配。

「臼田小学校」は、日照など近隣住民への配慮をクリアすることに苦労すると思う。工事中の児童への影響が心配。

その他について、環境で重視していることは面積であり、子ども達がストレスを発散でき、ゆったりと遊びができるスペースが重要。学校は子ども達の情操を育てる場所であるが、校舎とグラウンドだけでは情操は育たない。学校菜園などのスペースも必要と考える。

まちづくり・地域づくり

まちづくり・地域づくりについて、

「あいとぴあ臼田の東側」は、あいとぴあ臼田等公共施設があり、子どもと地域住民との交流や駐車場も利用できる。五稜郭など歴史的資源に恵まれている。臼田中学校に近いことから小中連携がしやすいと思う。

「青沼小学校及び周辺」は、公共施設、人口増、人が集まりやすいという部分でどうかと思う。20年30年先、青沼は南の端ではないという状況も考えられるのではないか。

「コスモホールの西側」は、公共施設に近く人が集まりやすい。まちづくりの拠点、人口増が見込める。

「臼田小学校」は、周辺に病院等、色々な公共施設があり、その中で様々な学習ができる。住宅などに囲まれていて、新小学校が建設された場合、更なる発展性があるかどうかは疑問に思う。

その他として、車社会なので道路が広いところが良い。学校が建設されれば自然に住宅が建つなど、まちづくりは小学校がどこに建設されてもできるのではないか。

通学

通学について、

「あいとぴあ臼田の東側」は、スクールバスの転回や、子どもが送迎を待つのにあいとぴあ臼田の施設が利用できる。通学路は中学生と同じになり安心できる。進入道路は、あいとぴあ臼田の土地を利用すれば拡張しやすい。

「青沼小学校及び周辺」は、臼田側からの、児童は踏切を渡らなければならないという点が心配。

「コスモホールの西側」は、広い歩道が整備されるのは良いが、国道141号線を渡る児童が多い。青沼からは歩道があまりないことが心配。

その他として、通学はとても大事であり、歩道が整備されていることが必要と考える。スクールバスの運行と、保護者の送迎のしやすさはよく考えなければならない。

経済性・工事の円滑性

経済性・工事の円滑性について

「あいとぴあ臼田の東側」は、用地買収、盛土でコストがかかる。

「青沼小学校及び周辺」は、コスト面では良いと思う。

「コスモホールの西側」は、用地買収、盛土でコストがかかる。埋蔵文化財が出土することが心配。構造改善をした所なので埋蔵文化財は出ない。

「臼田小学校」は、用地費はあまり必要としない。校舎側に建設する場合、他の候補地よりも時間がかかる可能性がある。

その他としては、検討委員が考える各観点の重要度による係数の議論が必要だと思う。

B グループ

安全性

安全性について、

「あいとぴあ臼田の東側」は、子どもの交通安全とか防犯については大人が対応してリスクを軽減することはできるが、自然災害はそういった対応が困難である。将来何かあった時に言い訳ができないことから、ハザードマップに載っていない場所の方が適当ではないか。洪水はある程度予測できるので、避難することも可能ではないか。

「青沼小学校及び周辺」は、場所としては非常に良い。防犯の面では中学生の通学路と違うなど総合的に評価した。

「コスモホールの西側」は、歩車道分離の道路が接するので安全性が高いと考える。

「臼田小学校」は、敷地が狭い上に、北側の道路を拡幅することになると、安全にゆとりを持って児童が学校生活を送れるのか不安。

その他としては、委員が評価する5つの観点が同じ配点というのはどうか。係数をどうするかを検討が重要。

環境

環境について、

「あいとぴあ臼田の東側」は、敷地が広いので、レイアウトも自由に設計できると思う。東西の幅が狭いのではないか。小海線が近くを通っていることが気になる。

「青沼小学校及び周辺」は、周りは田んぼで、学習の環境に適している。建替えも新しい土地を取得して建設するため問題なくできる。擁壁が高くなるのが気になる。

「コスモホールの西側」は、音楽ホール、図書館、保育園等、学習面の環境が充実している。敷地が広く、レイアウトも自由に設計できるのではないか。形が不整形で使い勝手が悪いのではないか。

「臼田小学校」は、現地建て替えのデメリットもあるが、何とか活かす工夫をして整備している学校もあり、ここでも工夫次第で建設できるのではないか。敷地が狭く、土地の形状が良くないため、施設のレイアウトが制限されるのではないか。

まちづくり・地域づくり

まちづくり・地域づくりについて、

「あいとぴあ臼田の東側」は、あいとぴあ臼田、臼田中学校、臼田駅が近くにある。地域の中核としては、あいとぴあ臼田の辺りが一番良いと思う。

「青沼小学校及び周辺」は、中心から少し外れるが、学校ができれば自ずと人が集まると思う。

「コスモホールの西側」は、周辺に公共施設等が充実している。高速道路の開通により人口増が見込めると思う。臼田地区の中には、アクセスしやすい場所もあるのではないか。

「臼田小学校」は、周辺に色々な公共施設があり、児童が見学しやすく、地域住民との関わりもでき、目も行き届くと思う。

その他として、まちづくり・地域づくりの観点よりも他の観点を重視した方が良い。近くに様々な施設があることは、学習面でもプラスになると思う。

通学

通学について、

「あいとぴあ臼田の東側」は、スクールバスはあいとぴあ臼田の駐車場で転回し、そこで乗降すれば良い。臼田中学校があり歩道が整備されている。

「青沼小学校及び周辺」は、小学生は徒歩通学が一番良いと思うが、スクールバスを利用する児童が多い。小海線を通学に利用できるかという意見もあるが、毎日先生が付くこともできず、不安もある。

「コスモホールの西側」は、県道が歩車道分離で整備され、安全で保護者送迎等の面でも交通の便が良いと思う。田口地区から遠く、青沼地区でも三條大橋を渡り、国道を歩いたり、横断することが心配。

「臼田小学校」は、周辺が歩道整備されているのは良い。スクールバスの転回や、乗降するスペースが十分とれるか心配。

その他として、保護者の送迎の面から街の中に小学校がある方が良いと思う。5つの観点の中で、毎日学校に通うので「通学」を1番大切にしたい。

経済性・工事の円滑性

経済性・工事の円滑性について

「あいとぴあ臼田の東側」「青沼小学校及び周辺」「コスモホールの西側」は、用地交渉、農振除外、盛土の量が多いという点で評価が下がる。

「臼田小学校」は、工事のスピードは大事だと思う。現在の校舎敷地に校舎を建築する場合は、完成するまでに最長で約9年かかる点がマイナスと考える。

その他として、全ての候補地が一長一短で判断が付きづらいため、同じ評価にした。

C グループ

安全性

安全性について、

「あいとぴあ臼田の東側」は、ハザードマップの浸水想定区域に指定されているが、千曲川が氾濫するような大雨の時は千曲川以外の川も氾濫すると考えられ、ここだけを危険とすることはできないと思う。ただし住民説明会の時の意見を聞くと、ハザードマップに指定されているところにあえて新しい学校を建てるのはどうかと思う。

「青沼小学校及び周辺」は、自然に囲まれて良いところだが、周りの目が少ないと思う。

「コスモホールの西側」は、新しい道路ができ、歩道も整備されるため、安全性という面で良い。片貝川に柵等の安全対策をしてほしい。

「臼田小学校」は、候補地の中で一番安全だと思う。周辺の道路で事故があって渋滞している中、児童が下校している姿を目の当たりにしており、交通量の多い道路の近くであることが心配。

環境

環境について、

「あいとぴあ臼田の東側」は、子どもが臼田中学校に通っているが、環境に不満を感じたことはない。小海線に隣接していることが気になる。

「青沼小学校及び周辺」は、自然が抜群に良いと思う。

「コスモホールの西側」は、日当たりは児童が生活する上で重要だが、敷地を見ただけでは想像できない。

「臼田小学校」は、新しい小学校を建設する場所としては敷地が狭く、土地が不整形であると思う。工事中の騒音など児童への影響が心配。

その他として、「あいとぴあ臼田の東側」「青沼小学校及び周辺」「コスモホールの西側」は、施設の配置が自由にできる。

まちづくり・地域づくり

まちづくり・地域づくりでは、

「あいとぴあ臼田の東側」は、あいとぴあ臼田、中学校等の公共施設が近くにあり、連携できることが良い。

「コスモホールの西側」は、現在の未開発の部分が多く安全面を含め表裏一体ではあるが、今後発展することが期待される場所である。

「臼田小学校」は、コンパクトシティを目指す視点から良いと思う。

その他として、学校周辺の公共施設の駐車場が利用できる点はプラス要素だと思う。

通学

通学について、

「青沼小学校及び周辺」は、スクールバスを利用する児童が多い点がマイナスと考える。

「コスモホールの西側」は、県道が歩車道分離で整備される。交通量は増えると思うが、信号や歩道橋の設置等の安全対策をすれば良いと思う。

「臼田小学校」は、商店街があり、地域の方の見守りがあり助かる。スクールバスの転回する場所や駐車場の確保については課題があると思う。

その他として、スクールバスを利用する児童と、遠距離の徒歩通学の児童数で判断した。「コスモホールの西側」で国道 141 号線の横断について懸念されているが、どの候補地でも横断は生じることであり、対応が重要である。送迎には近くに駐車スペースがあった方が良い。

経済性・工事の円滑性

経済性・工事の円滑性について

「あいとぴあ臼田の東側」は、工事用道路の拡張、小海線の制約や、近隣住民への配慮が必要。

「青沼小学校及び周辺」は、広々としているが、現地建て替えであるため、経済性・工事の円滑性についてはあまり良くないと思う。

「コスモホールの西側」は、県道バイパスができることから工事が円滑に進むと考える。

「臼田小学校」は、用地費がかからない。佐久平浅間小学校と比較されるが、佐久平浅間小学校は新設校のため、経費等も含め比較できないのではないかと。現地改築の場合、どのような環境で子ども達が学校生活を送るのか心配。